

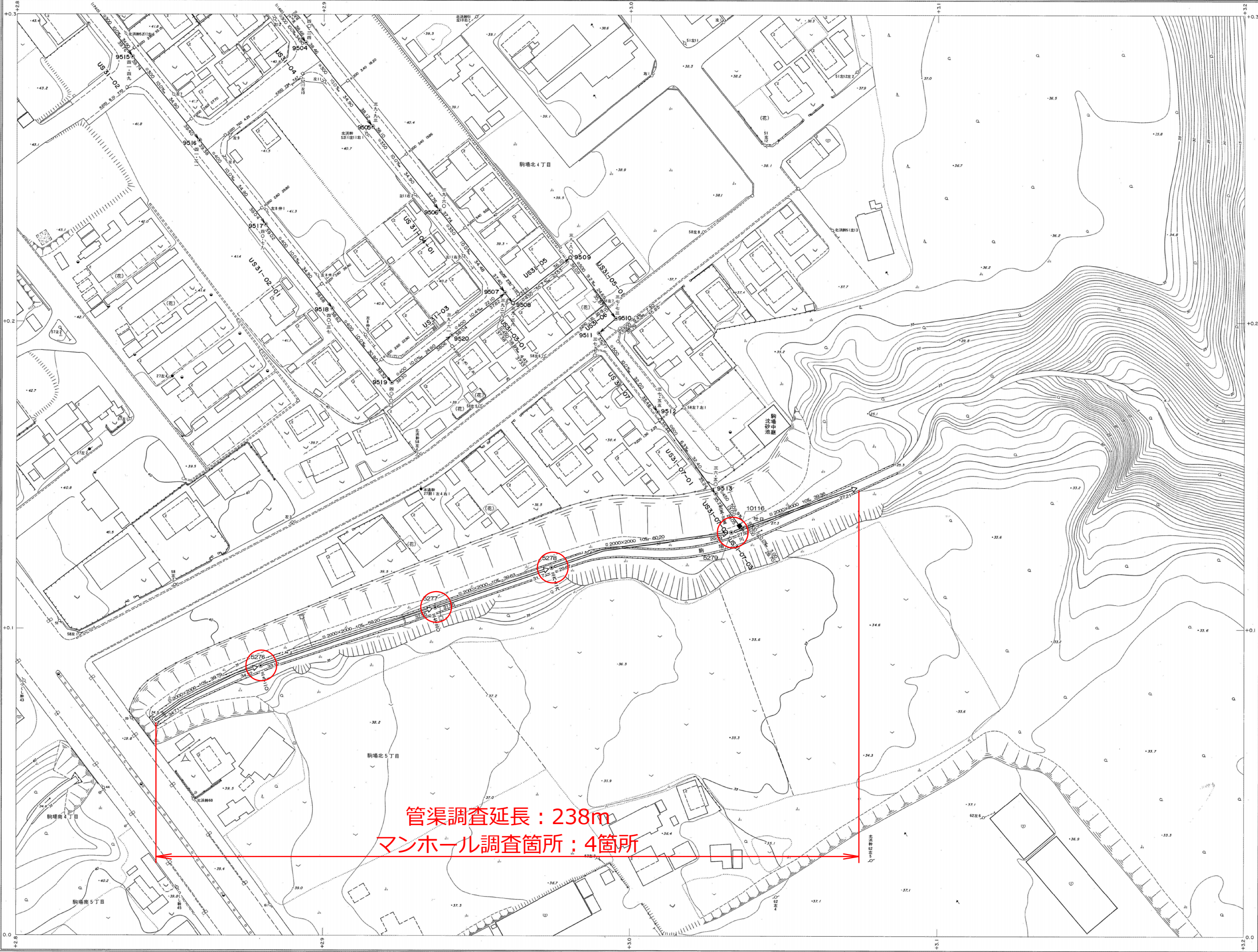
昭和五十六年十一月作製

朝日航洋株式会社調製

7-17	7-18	7-19
7-22	7-23	7-24
9-2	9-3	9-4



凡 例	
記 号	種 別
—	国公有地・民地境界
○	境 界 杭
---	行 政 区 界
—	条 丁・字 界
---	処理区界及び排水区界
---	処 理 分 区 界
→	幹 線 管 渠
→	圧 送 管
→	枝 線 管 渠
→	副 管
⊙	1号マンホール (内径φ1000mm)
○	2号マンホール (内径φ1200mm)
●	3号マンホール (内径φ1500mm)
□	4号マンホール (内径φ2000mm)
⊙	特1号マンホール (内径φ2000mm)
⊙	特2号マンホール (内径φ2000mm×1200mm)
⊙	特3号マンホール (内径φ2000mm×1200mm)
⊙	特4号マンホール (内径φ2000mm×1200mm)
⊙	特5号マンホール (内径φ2000mm)
■	矩形渠用マンホール
⊙	馬てい形渠用マンホール
□	雨 水 吐 室
□	特殊マンホール
⊙	マンホール内ポンプ所
→	吐 口
→	伏 越
→	流 水 方 向
○	汚 水 樹
□	雨 水 樹
■	雨 水 樹
■	マンホール地盤高
20.74	管 底 高
□	○ ○ ポンプ場
□	○ ○ 処 理 場

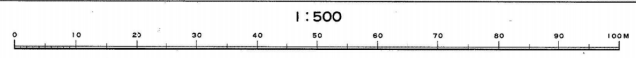


管渠調査延長：238m
マンホール調査箇所：4箇所

撮影 昭和56年6月
現 況 昭和56年8月
測 図 昭和56年10月

座 標 系 第33系
等高線間隔 1m

(下水道工事の高さの基準は、1等水準点 8999 H=3.9858を使用)



網 走 市
「この地図は、建設省国土地理院表の承認を得て、関係所管
の測量標及び測量成果を使用して調製したものである。
(測図番号) 昭56測公、第50号」